

園長だより

2024年11月1日

園長 澄川忠男

はやいもので、本日から11月です。11月は、もう霜が降るくらいの気候ということで「霜月（しもつき）」といますが、ここ最近の気候から考えると・・・一昨日の遠足でも、汗をたくさんかいて遊んでいました。

11月は、短期大学や付属高校との交流、西部公民館への作品展示、近隣小学校（桜山小学校・向山小学校）との交流、大学祭イベントへのお誘いなど、主にさくら組が中心となりますが、外部とのかかわりが多い月です。

園内では、玉ねぎの苗植えや大きな行事の作品展が開催されます。子どもたちは、一生懸命取り組んでいるところです。材料に関してのご協力などありがとうございます。16日（土）の作品展にいらっしゃるのをお待ちしております。

○遠足での様子

30日の遠足では、私はうめ・もも・さくら組と一緒に行きました。いつも、異年齢のグループで活動したことがあるからか、クラスに関係なく遊ぶ場面もありました。また、ほかの大人数の園とも公園で一緒になったのですが、先生方にご挨拶をしたり、遊ぶときには譲り合ったりして仲良く遊んでいました。



しかし、ほかの園の先生に困ったときに助けを求めたり、ほかの園の集合の時に行って並ぼうとしたり・・・これは両方の園の子どもたちに見られた行動です。ほほえましかったのですが、「知らない人についていく」という行動だけは気になりました。私のところにもほかの園の男の子が、足を怪我したとあって半泣きしながら手をつなぎに来たので、送り届けました。



つぼみ・たんぽぽ組の様子は、写真やビデオとともに話を聞きました。様子を見てうれしかった（おどろいた）のは、子どもたちがたくましく厳島神社の階段を上っていた様子です。学園内を散歩する時も、階段の上り下りをするのでその経験が生かされたのかもしれませんが、4月に比べて本当にたくましくなりました。

また、自分の興味関心があることには集中して取り組む姿も見られました。葉っぱ一枚、どんぐり一つでも、一生懸命に見たり触ったり自分のバックに大切そうに入れたり・・・

日常のルーティーンとなっている活動も大切ですし、非日常の園外での活動も大切ですね。様々な経験で子どもたちが育っている様子がよくわかります。

○タブレット端末

園長だよりNo.19で書いたように、保育・教育にかかわるICTの活用を進めているところですが、先日、各教室に教員用のタブレット端末を設置しました。早速、今回の遠足では子どもたちの様子を動画や写真に保存していました。今はまだまだ活用の内容は限られていると思いますが、我々教職員も慣れていくとともにスキルアップを図り、活用の幅を広げていきたいと思っています。ハード面ソフト面でも、来年度に向けてもさらなる整備をしていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。